



XIB キャピタルパートナーズ・フレッシュフィールズ共催セミナー

ベンチャー企業投資に関する留意事項と今後の検討課題 (ベンチャー企業及びベンチャーキャピタル投資の展望とリスク)

多くの企業がベンチャー企業への投資を直接もしくはベンチャーキャピタルへの投資を通して実施する傾向が世界的に強まっています。これは、先進的なビジネスモデルやテクノロジーが以前にも増して活発に創出されており、またその重要性が高まっているためです。ベンチャー企業への投資や連携を検討している企業は、ターゲット企業を見つけるべく、コンスタントに情勢を見渡し・情報を取得し、迅速に対応する必要があります。一方で成長初期段階の企業への投資は一般的にリスクを伴います。過去業績に関する信頼できる財務情報がないことが多く、またバリュエーションも相対的に高くなるため、企業は過大評価されたのれんと将来の評価損を被るリスクを負う可能性が高くなります。このようなリスクに対応するため、ターゲット企業の評価が上がる前のより早い段階でターゲット企業をスクリーニングすること、また将来の事業環境・事業状況を見据えたデューデリジェンスを実施することに注力する企業が増えています。

本セミナーでは、主に以下の項目について取り上げます。

- 知的財産の帰属、創業者のリスク、不確実な価値算定など、ベンチャー企業への投資リスクとその対処方法
- ベンチャー企業に直接投資を行う際の取引条件およびストラクチャリング
- ベンチャー・キャピタル・ファンドへの投資及びベンチャー企業投資を行う自社投資ビークル(CVC機能)に関連する契約の留意事項
- ベンチャー企業への投資・取引を効率的に実効し、取引コストを抑える方法

また本セミナーでは、上記を含む、ベンチャーステージのテクノロジー企業への投資を行う場面で起こりうる課題への対応について解説します。スピーカーは、クロスボーダーM&A、プライベート・エクイティ、ジョイント・ベンチャー案件を専門と

するエドワード・コール(フレッシュフィールズ日本法人代表パートナー)、多様なテクノロジー関連の問題に関する経験が豊富なリチャード・バード(フレッシュフィールズアジア IP・IT部門の代表)、多数のテクノロジー業界の M&A、ベンチャーキャピタル投資及びデジタル変革プロジェクトに携ったマーカス・ウォルター(シニア・アソシエイト)が担当します。エドワードがテクノロジー企業の買収に伴うリスクや適切な取引ストラクチャリングをいかに選択するか、デューデリジェンスのターゲットの絞り込み方および適正な取引条件を得ることによって、リスクを軽減する方法を解説します。リチャードおよびマーカスは、ベンチャーステージのテクノロジー企業を買収する際のリスクに対する自らの経験を踏まえた考え方を説明します。

皆様のご参加を XIB キャピタルパートナーズ及びフレッシュフィールズを代表して、心よりお待ちしております。

言語
英語

日時
2018年7月12日(木)

時間
12:00pm - 13:30pm 軽食をご用意いたします。

会場
フレッシュフィールズブルックハウスデリンガー法律事務所
(外国法共同事業) 会議室
東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー36階(代表: 03-3584-8500) [MAP]

お申込み
本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当までお知らせ下さい。
担当: 會田 靖夏
Eメール: shizuka.aida@xibcapital.com